

授基金積立70,000
▽地区集会所等施設整備
補助3,712

と説明
対応につ
十分時間
ことが重
の着手を
と呼び

基準監督
が講師を
明
ーと
ーガ
る建設業
害防止強
強に盛り
込みを周
る労働災
害「災害」へ

本年度の
報告によ
に基づく
講演も行
は、C P
制度)認
参加者
取るなど

広島県コンクリート診断士会 予防保全への点検要領など披露 第51回定例会開く

広島県コンクリート診
断士会(十河茂幸会長)

は7日、第51回となる定
例会を広島市中区で開
催。十河会長(近未来コ
ンクリート研究会)が
直々に演壇に立ち、「予
防保全を目的とした鉄筋
コンクリート橋梁の点検
要領」を披露するなど、



約40人の会員・賛助会員
らが熱心に聴講した。
定例会は、会員の技術
向上や情報交換を目的に
隔月、参加無料で開いて
いるもの。冒頭のあいさ
つで十河会長は、「感染
者が増加している状況だ

ると、10月単月の受注総
額は、前年同月比13・2
%増の1兆1373億円
いることに加え、官公庁
受注も平年並みに回復
し、国内受注は9・7%

が、今回のように対面方
式でやれるのは演者とし
てもやりやすい。感染予
防対策に気を配りなが
ら、しっかり聞いて帰っ
てほしい」とし、定例会
の場についても、「手持
ちの情報発信や賛助会員

の皆様の技術宣伝にも大
いに活用してもらえれ
ば」と呼びかけた。
講演の中で十河会長
は、現在の5年点検の中
心となっている打音検査
と近接目視では、本来行
うべき予防保全ではなく
事後保全になっていると
指摘。中性化深さ測定や
塩化物イオン量から腐食
の可能性を予測、調査し
て対策の時機を予測する
ことで、予防保全への転
換が可能になるとした。

また、後半では岡田繁
之副会長(橋梁調査会)
が「国土交通省との意見
交換会について」をテー
マに講演。今年6月に中
国5県のコンクリート診
断士会と合同で実施した
中国地方整備局との意見
交換における要望事項と
その回答の内容などにつ
いて説明した。



活用促進
国交省に
自民党C
自民党の「
方創生を実現
盟」(会長・工
議員)は、国
CLT(直交
連予算の確保
活用促進の取
を要望した。

の、額として
い。300億
シムや15
の遊園地、1
の研究施設な